

川崎病院 HP掲載  
お知らせ

1990年1月1目から2016年1月31日までに当院で卵巣腫瘍の手術を受けられた患者さんへ

今回我々は、「卵巣癌の組織型による増殖能の特性に関する免疫組織学的研究」と題する臨床研究を行います。対象となる患者さんは、1990年1月1日から2016年1月31日までに卵巣腫瘍の手術を当院で受けられた方で、その際に患者さんから取り出された腫瘍組織（保管検体）を研究に使用することに同意している方です。

本研究に関する検査は、手術で取り出された卵巣の組織を用いて行われます。術後の病理診断が終了した後に、保管検体を使用して、新たに組織標本を作成し、組織染色を追加して、研究を行います。手術病理標本における腫瘍組織標本を用いて、腫瘍がどのように発育・進展してゆくかについて解析を行います。最終的に、卵巣腫瘍が進行するメカニズムの一部を明らかにするために使用させていただきます。また、研究成果が、卵巣腫瘍の診断や治療法の開発に結びつくことも期待されます。

この臨床研究では、患者さんの保管検体が用いられますが、その研究結果が、検討させていただいた患者さん御自身の診断および治療法の選択に、新たに使われることはありません。今後、卵巣腫瘍の手術を受ける他の方々に対する新しい診断基準になり、医療の進歩につながることが期待できます。

この臨床研究は、当院で保管されている患者さんの検体の一部を使用させていただきますので、研究の科学的妥当性と倫理性を川崎医科大学・同附属病院倫理委員会で慎重に審査され、承認を受けています。全体で200名前後の患者さんのご協力をいただく予定です。

研究するために必要な資金をスポンサー（製薬企業等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究は主任研究者および分担研究者の教員研究費により実施されます。この研究を実施する関係者の中には、MSD 株式会社、持田製薬株式会社、科研製薬株式会社、株式会社ツムラ、エーディ株式会社、中外製薬株式会社からの奨学寄付金、および日本乳癌学会と日本医療研究開発機構委託研究開発費（吉川班）から研究班研究費の受託を受けておりますが、本学の利益相反委員会に申告を行い、適正に管理されています。なお、それらの企業および学会は本研究とは関係はありません。学会や論文発表の際にはこの状況を公表し透明化を図ります。

この臨床研究の結果は、学会での発表等に使われます。しかし、どのような場合でも患者さんのお名前などの個人情報が、当院外へ漏れることはありません。この臨床研究では、個人の秘密は守られ、お名前など個人情報が外部に漏れたり、公表されることはなく、研究によって患者さん個人が不利益を受けることはありません。

患者さんは、今回の臨床研究にご自身の保管検体を使用することに対して拒否することができます。また、この臨床研究に関して、具体的な研究内容や本件に関して何かご不明な点などがありましたら、いつでもご遠慮なく下記の相談窓口にご相談ください。

連絡先：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

主任研究者 : 川崎医科大学附属病院 産婦人科部長 下屋浩一郎  
病院所在地 : 〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577  
病院電話番号 : 086-462-1111 (内線 44394)  
電子メール : [shimoya@med.kawasaki-med.ac.jp](mailto:shimoya@med.kawasaki-med.ac.jp)